

調査報告書

- 1 とき：2012年5月10日
- 2 行先：名古屋市立天白養護学校
- 3 参加者：岡田ゆき子
- 4 主な内容
 - ・ 学校長 事務長対応 教育委員会杉山主幹が対応
 - ・ 学校概要の説明
 - ・ 校内見学
 - ・ 小学部 1クラス当たり6名 総数42名 クラス人数1～6名
 - ・ 中学部 1クラス当たり7名 総数28名 クラス人数3～6名
 - ・ 高等部 1クラス当たり8名 総数69名 クラス人数6～11名
 - ・ 国の基準一クラス当たりの人数より、多くなっている。
 - ・ 基本クラス以外に「課題別」「理解度別」クラス編成を行っている。
 - ・ 重複障害 脳性まひが多い様子 教員は病名での把握がされていない。
 - ・ 高等部入学者は、愛護4度程度の軽度が増えてきている。10年前に比べ生徒数1.5倍。クラス数1.4倍 天白養護増築一回で高等部2クラス増やした。
 - ・ 当日は、課外活動（高等部全員で畑）、教室事業（中学部全員で音楽？）が行われ普通教室は空いている状況。空き教室はない。

考察

- ・ 比較のおとなしい生徒が多く、行動障害など知的重度の子は見られず、で
一対一対応など当日見受けられなかったが、全教室利用のため、余裕教室
などの必要性はないのか。
- ・ 近年、軽度知的の子どもの数が増えていることを考えると、重度の特別支
援学校ではなく、高等養護学校の必要性を感じた。